

一般質問

ガバガバ 町政の課題



佐賀県武雄市いのししパトロール隊

●**福田義** どの地域でも、イノシシが増え田畑に出没し、作物・土木被害が増え、最近では今高野山の密集地まで出没している。柵などは一時的回避策



福田義人議員

■**町長** 最近では、イノシシが民家密集地に出没し、被害が広域化している。地域ぐるみで侵入防止柵被害防止と、猟友会の方々の実施隊による捕獲駆除

で、積極的な頭数制限を行う必要がある。鹿も増え被害の増加が予想される。イノシシパトロール隊を結成しては。

Q 鳥獣被害防止の今後は
A 猟友会・実施隊などと連携を密に

●**福田義** 地域教育・活動・交流の拠点の小学校在閉校になり、今後の活用策を昨年8月に提出した。活用策は地域活動の

Q 小学校統合後の地域要望の進捗は
A 地域ごとヒヤリングを実施

を行うが、繁殖力の旺盛なイノシシの頭数減が追いつかない。地域の方々と共に捕獲に取り組みたい。

■**町長** 要望提案は、自治センターへの移転を始め多岐である。2月に回答したものを元に、ヒヤリングを実施、各地域にふさわしいハードの方針を準備する。

根幹であり、社会資源を有効に活用することは、地域の発展に欠かせない。しかしその後の取り組みが明らかでない。格差ある要望を、公平にどう進めるか。対応が遅い。



猟友会員の指導でオリを設置するパトロール隊員

Q 閉校跡地利用はスピードある対応を

A 2月下旬には策定



仲行 洋議員

■町長 7月に現地調査、8月下旬から10月下旬まで協議、整理していく。2月下旬には6校の活用計画を策定する。

■町長 旧東小学校は受入に当たって施設の整備を事前にする必要があるのである。

Q 下水道事業の適正な負担区分での運用

A 維持管理費のあり方を調査

■町長 7月に現地調査、8月下旬から10月下旬まで協議、整理していく。2月下旬には6校の活用計画を策定する。

■町長 旧東小学校は受入に当たって施設の整備を事前にする必要があるのである。



閉校小学校の現地調査（旧津久志）

■町長 少人数世帯で以前の設置基準で大きな浄化槽を設置している世帯では、一人あたりの負担は大きい。水環境の保全は、行

政の取り組みべき重要な施策と認識しており近隣市町の動向も参考

にしながら、維持管理費のあり方について調査検討していく。

Q 予算執行の根拠は議決

A 要綱などを定め執行



福田 豪議員

が必要。しかもそれは、町長限りのものではなく、議会の議論を経て

Q 寺町公園の全体計画は

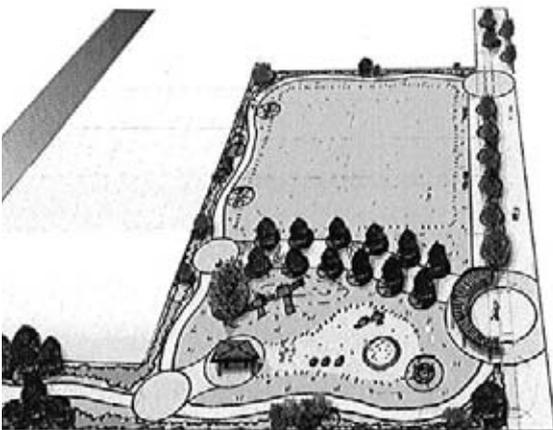
A 具体的計画はH24年度

■福田豪 寺町公園の用地取得は、その後の整備計画やその予算が示されていない。議会が了承しているとは考えられない。

■町長 全体構想が示され、理解が得られるまで用地取得はすべきでない。

■町長 具体的な整備内容はH24年度に基本計画を予定。適切な時期に議会へ説明し、審議いただきたい。

身近な公園の整備イメージ（街区公園：寺町公園）



注) これはあくまでもイメージ図ですので、この通りの整備内容とは限りません。



野積堆肥



永田英則議員

Q 野積み堆肥汚泥や鶏糞の撤去は関係者に説明をする必要がある

永田 ①問題の袋が町内のどこに置かれているのか、数量はどうなっているか。②改善撤去命令内容は、県・町の責任対応は。③環境衛生への影響は。

町長 ①小世良、寺町、安田、青水に10、428t。生活自然環境への影響が心配される。②県が主導的立場で対応する。③野積堆肥はマイナスの影響を及ぼすものと危惧している。④関係者に説明する必要がある。

Q 合併浄化槽の導入について途中で中止はできない

永田 公共下水道を合併処理浄化槽の導入に変更したらどうか。

町長 H22年度に第2回認可変更を行ったところである。現時点で認可区域内の整備を途中で中止はできない。

Q 職員の人材育成は着実に職員育成に成熟

永田 ①人材育成体制は充分か。②人材育成の能力は充分か。

町長 ①県の自治人材開発研修センターで実施される研修に参加。又、町独自の研修に積極的に参加している。②管理職員は、部下職員育成の課題意識が醸成されていると感じている。

Q 高齢者問題の対応は住み慣れた地で安心した生活を



GG みんなで健康に

仙光 世羅町では、過疎化高齢化が進み歯止めがかからないのが現状である。このような状況下で振興区などの地域活動ができなくなり、老人会などの組織づくりもできない現状がある。益々、人とのふれあい越来越少なり認知症などの病気になる人が増えていると聞いている。中には、誰にも見取られず孤独死をされた人もあった。



仙光保喜議員

このような問題の解決には、住民自治組織活動の中で対応していくことも必要であろうし、高齢化社会の中、老人クラブなど仲間同士での助け合いも必要と思う。

しかし、自主防災組織づくりもできていないし、老人クラブの組織作りもできないところまで進んだ。高齢者問題、放置できない重要課題と思うが。

町長 わが国は、平均寿命、高齢者数、高

齢化のスピードこの3点で世界一にあり、高齢者のみの問題にとどまらず日本社会の将来を左右する課題であると思う。

本町は、高齢化率35%を超え、認知症高齢者も年々増えている。他の市町、県、国等と連携をして、あるべき形を作る時期だと考えている。

福祉の面から介護保険事業をはじめ在宅生活を支援する目的で訪問給食、安心電話、民生委員による見守りなど事業をしている。

高齢者だけの一人暮らし世帯の増加から、地域で支えあう体制づくりが急務と認識をしている。

「災害時要援護者非難支援制度」の普及など、健康で自立した生活が一日でも長く続くための施策により住み慣れた地域で安心した生活ができるよう努める。



東日本大震災

●豊田 大震災は原発事故を発生させ社会全般に損害と不安を与えている。今後は原発に頼らず自然エネルギーに転換すべきだ。上関と島根原発はどう思うか。節電はどうするか。
■町長 原発は縮減す



豊田 勲議員

Q 原発に頼らないエネルギーと節電は
A 原発は縮減し太陽光等の利用を図る

べき。ダム湖面にメガソーラー可能。小水力発電も。本町は太陽光発電設置補助3年目で計364基となる。節電は、冷暖房設定温度の徹底・昼間の消灯など。

Q デマンドを利用できない人に福祉策を
A 現制度の精査と打ち合わせ検討

●豊田 デマンドタクシーに乗ると、300円で済むが、乗車困難な障害者は利用ができません。料金は何倍

もかかる。他の市町ではタクシー割引など出している。弱者に温かい支援を。
■町長 車いす利用の方に別途福祉サービスで対処するとしている。在宅で住み慣れた地域で安心した生活のため、現制度の精査をしていきたい。

Q 大震災から何を学び活かすか
A 初動体制の確立につとめる

●豊田 今度の大地震と津波は「想定外」と言われているほど被害を受けた。本町は災害防止・救援救済に「想定外」も視野に入れた対応をすべき。災害対応の備蓄品は。
■町長 災害に対する初動体制の確立、想定外の対応も調整する。備蓄品はブルーシート・土のう袋・杭を確保。他も順次確保したい。



各種教科書

Q どうする「防災計画」
A 24年度に修正する

●中村 予期しない想定を超える大災害に対してはきめ細やかな防災計画が必要である。計画の検証・見直しについて聞く。
■町長 昨年の豪雨災害を検証する中で、災害対応については初動対応が重要であり、職員初動マニュアル風水害編を策定した。地域防災計画の見直しは平成24年度に修正等を行う予定で、予期し得ない大規模な災害に対応するためには、備蓄拠点の整備と災害

対応資材の常備が急務であると感じている。

Q 中学校教科書採択は
A 適正かつ公正に行う

●中村 来年度から使用する教科書の採択に当たっての所見を聞く。
■教育長 採択に当たっては、教科用図書発行者による宣伝行為に影響されることなく、適正、公正を期し、本町の中学校生徒に最も適切な教科用図書を採択することを基本方針としている。採択の手順は、広島県教育委員会の指導・助言を受けながら「教科書調査委員会」を設置し、教科ごとに各社の教科書を調査し、また「世羅郡教科用図書採択地区選定委員会」を設置し、研究・検討を行い、町教委から諮問し、答申により決定する。

Q

産業廃棄物の排出者責任を問う

A

最終処分が終了するまで責任がある

●徳光 ①産廃業者リバースが、事業開始後10年が経過した。町の取り組みに問題はないか。②町、住民に被害はないか。③今年7月25日まで全量撤去の命令が出た。撤去しない



徳光義昭議員

い場合の排出者責任は。■町長 ①地元と業者間で公害防止協定書が締結された。業者は、改善命令、指導命令を履行せず、野積み堆肥の撤去もせず放置している。町は県と連携して適正な処理を促し指導してきた。②臭気、汚水で環境悪化と風評被害が危惧される。③排出事業者は処分を委託する場合、最終処分



消防屯所と宮中氏碑

が終了するまで責任がある。撤去しない場合は、県が検討する。

Q

世羅中央病院の周辺整備を

町道整備は選択と集中で推進したい

●徳光 10月1日の増床リニューアル・オープンに向け、患者に安全な周辺整備を。

①駐車場の収容台数は。②病院北の町道今東線の拡幅工事を。③病院敷地にある消防屯所と「宮中氏翁徳碑」の移転を。

■町長 ①第一駐車場85台、新設第二駐車場118台の計203台。

②今東線は、今後駐車場の利用を勘案し検討する。病院前の大田道線は、H22年に着手。

今後、選択と集中により事業推進したい。③屯所は検討中。宮中翁徳碑は地元関係者と病院の協議による。

Q

キレル子の実態は

A

共感的人間関係を構築し対応

●小川 キレル子が増えていると聞く。町内の実態は

■教育長 昨年度は、中学校で生徒間同士の暴力行為が増加したがすべてが些細な問題であった。全教職員に、授業規律の徹底、わかる授業づくりや、小さな問題行動をも見逃さず粘り強く指導を徹底。指摘された無気力児童にも、教職員と生徒が共感的人間関係を構築することで健全育成を目指す。



元気な小学児童

Q

高齢化社会にどう取り組む

大きな課題と認識

●小川 急速に進む高齢化で、弱者は効果の鈍さに苦しめられている。助けを求めるシグナルを無視するの、対策のつけが今ここにきて孤独者増を招き、いた

めつけられている。どう取り組むのか。■町長 現実に大きな課題と認識し、今後も安心安全を基本に、地域であらたな見守り隊など、対話のできる対策を進展させ、生活の質を向上させる。

■町長 現実に大きな課題と認識し、今後も安心安全を基本に、地域であらたな見守り隊など、対話のできる対策を進展させ、生活の質を向上させる。

Q

下水道事業の適正な負担区分を

利用料金のみでは困難

●小川 客観的に困難とされている経費を繰り入れることを「地方公営企業法」で定めている。赤字のすべてを繰り入れるのでなく、その前提となる負担区分の原則からも見直しの検討を。

■町長 供用開始から2年しか経過しておらず、利用料金のみで賄うことは困難である。国の事業への見直しなど動向を重視し、安易に一般会計に頼ることのないよう努力する。

Q 保育所入所の緩和を

A 要望に努力する



西田美喜男議員

●西田 保育所の入所に当たって、配偶者が一週間24時間未満のパート勤務のため、第二子が入所できない事態

が発生した。

本町は「育てる」7つの重点事業の展開に力を注ぐ「子育て」支援の充実が掲げられている。子育て支援のため、要綱の緩和を考へはないか。

■町長 入所希望は年々低年齢化し、3歳児未満は、希望の保育所

に入所できない場合もある。入所には、担当窓口で調整し、要望に沿えるよう努力する。

Q 聞き取れる防災無線にデジタル化の中で検討

●西田 本年は野外火災が多発した。そうした状況の中、地域の方が野良仕事等で、防災無線を聞くことができない地域がある。

野外スピーカーの実態と増設について考へを伺う。

■町長 現在、野外受信による拡声装置は、13カ所設置され、公共施設の敷地内で、音声がよく通る場所に設置されている。今後、防災行政無線のデジタル化を検討する中で、効果的な情報伝達方法を検討する。

野外スピーカーの増設を！



Q 防災対策と自然エネルギーは自主防災組織を進め太陽光発電の補助充実を



矢山武士議員

●矢山 東日本震災を教訓にし、町の一層の防災への備えとともに、原発に頼らない自然エネルギーの取り組みを強めるべきで、太陽光発電への助成を強

化すべきでは。

■町長 早めの避難ができる、自主防災組織



友達 増えた！

Q 統合小学校と元小学校とその地域への対応は新しい学校づくりを進める

●矢山 小学校統合から2カ月の状況と楽しい学校づくり、通学の問題は起きていないか。廃校となった6校の利用と、地域の要望に

を。

■教育長 みんなで練り上げる学習が生まれ、盛大な運動会ができるなど、学校づくりを進めている。通学については、協議し対応をする。

■町長 廃校の利用は整備方針を策定するとともに、当面の管理をする。

の設立と防災意識の向上を支援。
現在、太陽光発電に1KW当たり、3万円から10万円までを補助しているが、今後補助の充実を考へる。

Q お年寄りの活動を助け福祉の強化をグラウンドゴルフなどの体力づくりと講座を

●矢山 お年寄りの願いに応えるデマンドの改善はできないか。発達障害児が増加しているが、対応の充実と老人クラブ活動の支援を。

■町長 デマンドのために車両の確保が必要で、土日の運行は予定していない。津名地区で、三和町までの運行を実施予定。
療育支援人材育成などの体制整備を行っている。老人クラブ活動を活発にし、活動の場を提供する。



LEDに変更された街路灯（左：旧甲山、右：旧世羅）

Q

街路灯の名義変更申請は

電気料金は町で負担する

●岡田 今年度、安全安心の観点から電気料金は町で負担するとあるが、街路灯・防犯灯

はいくらあるか。

■町長 町が管理している物件は1045基。電気料金は375万円となっている。地元自治会の管理分は、1350基あると思われ、年間490万円必要と考えている。電球交換は200万円計上



岡田武士議員

している。

今年度は、宇津戸、西大田、津久志、大見がLED化するよう検討している。

今高野山通りの整備は

くらしの道整備事業で計画的に整備

●岡田 今高野山通りは下水道整備と一緒に整備するとあったが、下水道の計画は年々遅れている。いつになるのか。

■町長 該当の町道は下水道認可区域になっている。路面状況の改善は必要と認識している。下水道の進捗状況を勘案して行っていく。

今年から中央橋を渡って工事に着手する予定。しかし、3月の東北地震の影響で、全国的に公共事業補助金が縮小されたため、長期化が予想される。

安佐長秀議員の

一般質問

1 10年先を見込み、町民目線での世羅町都市計画は

2 中山間地の農業政策について

3 小学校統合後の本町の学校づくりについて(教育行政政策)

3問の一般質問をされましたが、「本人の都合」で原稿の提出をしないとの申し出がありましたので、休載とします。



安佐長秀議員

人事

人権擁護委員の推薦を諮問

世羅町大字京丸

松尾 誠氏

H23年9月30日の任期満了に伴い、引き続き推薦することについて意見を求められ、適任といたしました。

お知らせ

定例会前月の20日前後に議会運営委員会を開催します。請願、陳情は、それまでに、議会事務局に提出してください。

※一般質問の投稿ルール

一般質問は質問者が、質問内容、答弁を約450字以内にとり、提出期限までに（今回は6月17日まで）投稿する。